

『ぱれコレ 2012～融合と創造～』 始動！

1983年の設立から今日まで、制度や既存のサービスにとらわれることなく、独自のアイデアと実践を通して社会に挑戦し続けてきたぱれっとが、設立 30 周年を迎えるにあたり、7月29日(日)、様々な人が融合し共に創り上げる「ぱれコレ 2012～融合と創造～」を開催します。現在、実行委員体制のもと、「企画」「広報」「資金調達」の3つのチームに分かれて準備を進めています。今回は、各チームの皆さんから進捗の報告をします。

企画チーム**報告：ぱれコレ実行委員 吉田 雄介**

2002年頃ディジュリドゥーというアフリカの楽器に出会い、それ以来音楽に熱中し続けて10年がたってしまいましたが、いまだに10年前と変わらない思いで楽しく音楽活動をしています。初めて目にした時に感動した障害のある人たちによる歌や踊りの純粋さや力強さを、より多くの人に伝えたいという思いで今回、実行委員として参加させていただいています。

現在、障害のある人達の持つ表現力を大いに生かしながら、多様性溢れる舞台にするというコンセプトの元、プロのダンサー、ミュージシャン、デザイナー等が集まり、福祉という分野にとらわれない一つのアート作品を作り上げようと日々企画を練っています。その他、衣装制作には、趣旨に賛同した杉野服飾大学の学生有志の皆さん、前回の「ぱれコレ 2010」を通して繋がりが出来たNPO法人ユニバーサルデザイン協会の皆さんが加わり、準備を進めています。

広報チーム**報告：おかし屋ぱれっと 長澤 美佳**

今回のステージは、障害のある方々だけではなく、子どもやシニア、外国人など、障害の有無に関わらず、世代や国籍も様々な方々にイベントへ出演頂き、ぱれっとが目指す多様な社会を表現するステージにするべく、幅広いジャンルの機関へイベント出演者募集の広報をしました。今後は、

ぱれコレ専用のウェブの立ち上げにも取り掛かります。

資金調達チーム**報告：ぱれコレ実行委員 遠藤 英俊**

私は3年前にたまり場にボランティアとして参加して以来、たまり場だけでなくぱれっとの様々な活動に携わっています。

私たち資金調達チームの目的はズバリ、イベントに必要な資金を集めることです。助成金、協賛金、個人の皆様からの寄付金。目的も重視される点も異なるこれら3つの柱に対し、どうすればより多くの資金を獲得できるのか、これまでチーム内で議論を続けてきました。その成果が徐々に形となって現れてきました。まず、今月から協賛金集めを本格的に開始。そして、より多くの方から寄付をいただくための新しい試みもまもなくスタート予定です。

～ ぱれコレ 2012 ご寄付のお願い ～

今回の「ぱれコレ」は、前回よりも規模を拡大し、実行委員一丸となり準備を進めていますが、開催資金が不足しており、皆様のご協力が必要です。当日は、「ぱれっと」の名前の通り、様々な個性が融合し、人と人との結びつきから生まれる無限の可能性にワクワクし、未来を共に思い描ける場にしていきたいです。

何卒、ご協力をお願いします。

★ご寄付については、ぱれっと事務局へご連絡ください。